「かかしコンテスト」による葛原地域活性化事業

平成２３年度１次募集
採択事業

葛 原 町 会

葛原町会

● 位置：岳-鯵ヶ沢線バイパス沿い

葛原町会　組織・活動について

●１０５世帯　（役員９名）

※地域活動として、公民館、消防団、永楽会、春日神社、婦人部、共用林野組合の事業も実施

●地域の交流や活性化を図る事業

以前は…スポーツ大会、夏祭り、仮装盆踊り大会など実施

↓

公民館活動の補助金が廃止（市町村合併後）
町会費だけでは大きな事業が実施できない
事業実施しても参加者が少ない

ここ数年、子どもたちが楽しめる活動が実施されない状況

住民が積極的に参加して実施した「かかしコンテスト」を復活
地域の世代間交流を図り、葛原の地域を活性化させたい。

「かかしコンテスト」による葛原地域活性化事業

【主な事業内容】

・各自による「かかし」制作

… 町内に事業内容周知・参加者を募集（100体を目標）
各自で材料等準備し自宅で制作

・鯵ヶ沢町中村地区「かかしの里」見学

… 展示されている「かかし」を見学（制作の参考に）
「かかし」の制作方法、事業計画・予算などについて学ぶ

・「かかし」展示　9月1日～16日

… 町会役員等で「かかし」支柱・看板の設置（８月29日早朝）
「かかし」設置（８月３０日・３１日）
展示初日に採点。春日神社宵宮で結果発表（９月１０日）

「かかしコンテスト」による葛原地域活性化事業

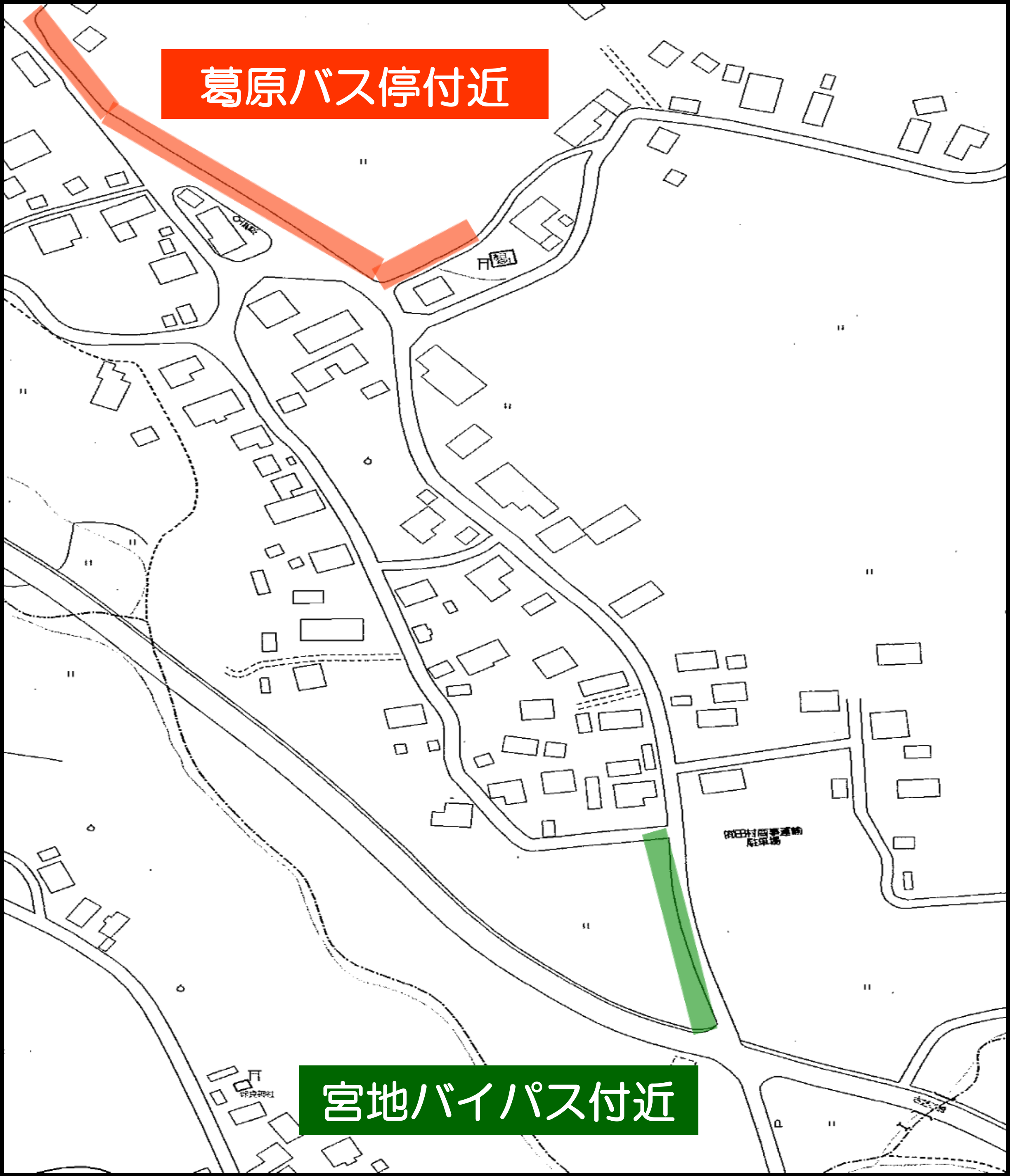
●総事業費　：　１６２，１３３円

●補助金額　：　１２６，０００円

●対象経費　：　消耗品費（かかし制作費等）
燃料費（穴掘り機用）
保険料
使用料（バス借上料）

◎かかしの里見学
（鰺ヶ沢町 中村地区）

実行委員長から説明を受ける▶
▼



◎かかし 設置場所

◆葛原バス停付近
約２００m

◆宮地バイパス付近
約１００m

◎かかし支柱設置

☀２か所に設置
- 宮地バイパス沿い田んぼ
- 葛原バス停付近田んぼ

☀朝５時から ８人で作業

※各自で制作した
「かかし」を自由に設置

◎「かかし」展示（H23.9.1～9.16）

～宮地バイパス付近～

✤個性あふれる「かかし」たち✤

バイパスから奥、
葛原バス停付近にも ▶
「かかし」がある旨表示

～葛原バス停付近～

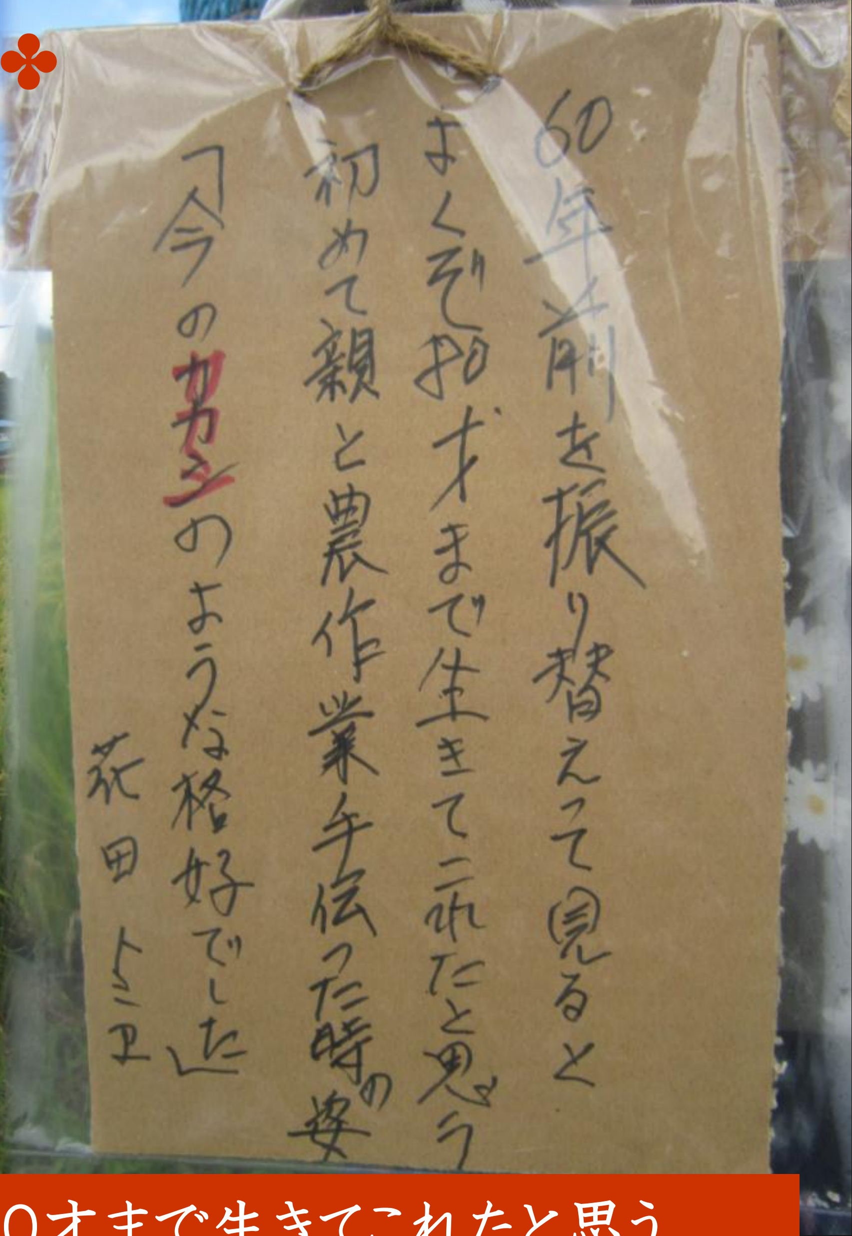
✤個性あふれる「かかし」たち✤

◖麦畑まっつあん◗

◖麦畑およね◗

「およね、どごね えだ…」

✤個性あふれる「かかし」たち✤



60年前を振り返って見ると、よくぞ80才まで生きてこれたと思う
初めて親と農作業手伝った時の姿
「今のかかしのような格好でした」

◖災害救助隊◗

◖ミス葛原◗

◖たか丸くん◗

◖子どもたち制作◗

約１３０体の
かかし展示

新聞にも掲載

◂陸奥新報▸

色づく田んぼを背景に、ユニークなかかしで楽しませるコンテスト

田んぼ背にかかし130体

弘前 葛原町会 たか丸くんなど多彩に

弘前市岩木地区の葛原町会（対馬正二町会長）は1日から、宮地バイパス沿いの田んぼなどで、地域住民手作りの「かかしコンテスト」を行っている。色づく田んぼを背景に、災害救助隊や弘前城築城400年マスコットキャラクターたか丸くんなど多彩なかかしが並び、住民や観光客らを楽しませている。展示は9日まで。

コンテストは市の公募型補助金制度「市民参加型まちづくり1%システム」を活用。コンテストを通じて、世代間交流や地域活性化を図ろうと行われた。

かかし作りは小学生から高齢者まで広く参加。「へのへのもへじ」顔の他、着飾った「ミス葛原」、60年前の自身の姿を再現したかかしなど趣向を凝らした130体が並んだ。

対馬町会長は「田んぼとかかしがちょうどマッチして良い風景になった。ぜひ見に来てほしい」とPR。かかしは顔や体のバランスなどで採点し、10日の同地区の春日神社宵宮で表彰する。（稲村千穂）

◂東奥日報▸

ずらりと並べられた個性的なかかしたち

"にらみ"満点かかし130体

葛原地区 5年ぶりコンテスト

弘前

弘前市葛原地区で、1日から「かかしコンテスト」が開かれている。岩木山の麓の田んぼで、黄金色に染まってきた稲穂を見守るように、約130体の個性あふれるかかしが"にらみ"を利かせている。（大沢日出樹）

旧岩木町のころに、葛原公民館の事業として取り組んだイベントを、地域住民の熱意で5年ぶりに復活させた。

近隣の町会にも参加を呼び掛けたところ、子どもからお年寄りまで幅広い年代の住民が出品。約130体が勢ぞろいした。

古着や小道具などで着飾った表情豊かなかかしばかりで、弘前城築城400年祭のマスコットキャラクター「たか丸くん」を模したものやアニメキャラクターなどが人気。東日本大震災の復興を願い、迷彩服姿の「災害救助隊」や「がんばろう東北！」のたすきを掛けたものもある。

出来栄えは、地域の大人たちによって、顔のつくり、衣装、全体のバランスの3項目で審査され、10日に成績が発表される。

葛原町会の対馬正二会長は「これだけ並ぶと見応えがあるし、スズメも近寄らない。大勢が参加してくれたので、少しでも地域の元気づくりにつながってほしい」と話していた。

今後の活動について

●事業実施にあたっての苦労点

・地域住民の、事業への理解と参加・協力。

●実施結果・効果

・住民たちが楽しんで参加。競い合いながら「かかし」を制作・展示。

・葛原の地域の活性化につながった。

●今後の活動の方向性

・活動の実績を踏まえて継続実施し、「かかしコンテスト」を葛原ならではの事業として定着させる。